



開所日時 月・水・木・金曜日
15時～18時
土曜日 10時～13時

児童デイサービス

まごころ児童デイが開所して最初に利用してくれていた子どもたちがこの3月で小学校(小学部)を卒業とともに児童デイも卒業となりました。



ひとりひとりのお別れ会には今までの記録映画を楽しみました。ずいぶん大きくなったものだ改めて4年の歳月を感じました。中学生になっても地域で会える日を楽しみにしています。

4月は新しい友だちとの出会いの月でもあります。どんなお友だちが来てくれるのでしょうか。たくさんのお友だちと仲良くできるよう、楽しみに待っています。



施設訪問と交流会に参加します

障がい児童が社会にできるための支援として行なっている施設訪問、今年は木曾川作業所を訪問させていただきます。

参加ご希望の方は一宮まごころまでお問い合わせください。

訪問日時 平成20年5月20日(火)
訪問先 木曾川作業所
時間 9時30分 一宮まごころ出発
10時～13時 訪問と交流会
14時 一宮まごころ到着
解散

平成19年度愛知県発達障害支援
啓発セミナーに参加して
基調講演テーマ
知って欲しいな 発達障がいのこと！
「～親として、支援者として、
伝えたいこと～」
講師 日本自閉症協会愛知県支部父親部
山本浩人氏

講師の山本さんは自閉症のお子さんをお持ちのお父さんです。福祉施設で障害者ヘルパーとして働きながら、「伝道師活動」をされています。

「地域の子どもたちに自閉症や子どものことを知ってほしい。」こんな山本さんの想いが伝わってくる講演でした。

「我が子もこの地で暮らしていくために」山本さんは地域の住民の方々や子どもたちとの交流を大切にしてきました。そしてつばみの会のメーリングリストに登録してから新しい仲間を得ることになり、それが福祉の分野に踏み入るきっかけになったそうです。

いまでは愛知キャラバン隊ネットワークの一員として唯一個人活動されています。

愛知キャラバン隊ネットワークとは・・・

父母や支援者を中心に、自閉症や発達障がいや知的障がいのことを たくさんの人たちに知って欲しい！と啓発活動を行っているグループのネットワークです。愛知県内には7つのグループ(名古屋、東浦、岡崎、東海市、半田・武豊、瀬戸市)があり、体験コーナーを交えながら小中学校や一般の方に出前公演を行っています。(愛キャラネットのチラシより)

キャラバン隊の活動紹介の公演もあり、障がいの特徴、障がい疑似体験、適切な対応方法などを具体的に教えていただきました。

一宮市にもこのような活動グループができるといいと思います。地域で自分らしく暮らす為に私たちも考えてみては如何でしょうか？

ミニテイだよ!



春の訪れ

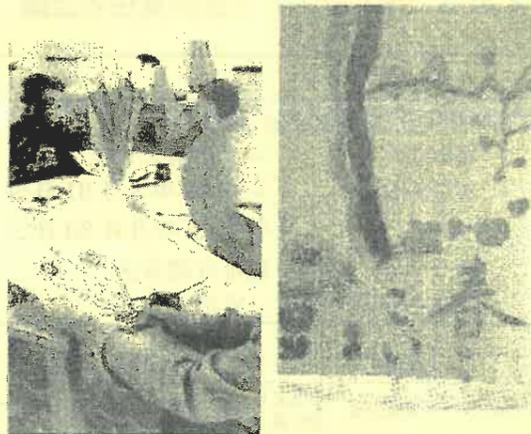
風邪で休んでみえたMさんとOさんの元気な姿が見られ、再び明るい和やかなムードが戻りました。

Oさんが、「久しぶりに楽器をしたいけど」と希望され、キーボード、鈴、太鼓、トライアングル、タンバリンを用意し、皆で“365歩のマーチ”の曲に挑むことにしました。皆、楽譜にかじりつき一生懸命でした。

次にキーボードを弾いていた方が、以前に練習した“荒城の月”をやりたいと言われたけれど楽譜が見当たらず、すると90歳のAさんが頭の中から楽譜を取り出し、「ミミラシドシラ ファファミレミ・・・」と口ずさんでくれました。「すごい！すごい！」新たな一面の発見でした。すぐメモ書きした楽譜を皆に手渡し、演奏することができました。

別のテーブルでは、彼岸桜、クリスマスローズと画用紙にいっぱいの春の花が描かれました。

さあー、春の空気を吸って、ゆっくりと一歩ずつ歩き始めましょう・・・



春を待ちこがれ春をあらわす利用者さん

賛助会員の皆様・協力会員の皆様

新年度になりました。

引き続き会員登録をよろしく
お願いいたします。

バリアフリーの目



▼ 車椅子にやさしい街？

重度の身体障害の方と、度々外出支援で出かける機会があります。普段から私も「ここの食堂のテーブルには車イスが入らないだろうな…」とか「この建物へ上がるエレベーターの標示は何処にあるのか？」などといつ目が行ってしまいます。健康体の私たちには何でもない数段の階段も、車イスでは越えられない障害となり、「スロープは？」「エレベーターは？」と探したりすることに時間を費やし、大変な思いをすることが多いのです。

▼ 配慮が欲しい人も、場所も

ある時、JR〇〇駅で改札を通過してから、ホームへ上がるのに昇降機が使われておらず、1キロ余りも回り道をしてエレベーターのある駅まで歩かなければならなかったことがありました。始めから駅員が親切に場所を教えてくれれば良かったのにと、ショックな思いをしました。障害者も普通に外出するには、やはり地域の場所々に細かい配慮がなされていないと自由には外出できません。

▼ 便利になるとはどういう事？

JR一宮駅に、この度エレベーターが設置されました。今まで車イス利用者は昇降リフトとエスカレーターを使って、10分～20分かかってホームへ上がっていました。少しは便利になったと思ったら、エレベーターに乗るのにも車イス利用者はまた待たされました。障害者にとっても便利さは必要なことです。

私たち誰もが普段から「バリアフリーの目」を持ってチェックをし、声を上げていくことが住み良い街づくりにもつながることだと思います。

